

(寄稿)

## 一般地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 ～設立経緯と現状、及び今後の課題について～

山形県庄内地域北部にある日本海総合病院と日本海総合病院酒田医療センターの両病院は、経営統合により効率的な地域医療にセーフティーネットを築いた病院である。両病院の法人組織である「地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構」は、山形県立日本海病院、酒田市立酒田病院、双方の設置者の合意により、平成20年4月に発足した。

経営統合に要した期間は、僅か1年6ヶ月であり、その背景には、医療を支える病院職員と地域住民の不安を煽ることのないよう、関係者の強い意志のもとに進められたことが寄与している。

統合後は、急性期医療からかかりつけ医への患者シフトが進み、地域医療の役割がより明確になり、また、医師、研修医のマッチング実績の向上が見られた。これらは、統合成果を説明するのに十分な変化といえるであろう。

平成19年12月、総務省が策定した「公立病院改革ガイドライン」の中では①経営効率化、②再編、ネットワーク化、③経営形態の見直し、の三項目を改革の視点としてあげている。本統合は、ガイドラインに全て合致するものとなり、モデル事業としてその成り行きに関係者から大きな関心が寄せられてきた。

本稿では、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 栗谷 義樹理事長に寄稿いただき、県立日本海病院、市立酒田病院における経営統合、再編の経緯から今後の課題に至るまで、その経験を踏まえ独自の視点・考察を取り入れご執筆いただいた。統合の際、最も関心の高い事項の一つである人事的な問題なども触れられており、統合を検討に際しては貴重な資料ともいえるであろう。

(市川)

地方独立行政法人は  
「特定地方独立行政法人（公務員型）」  
「一般地方独立行政法人（非公務員型）」に分類されます。

2013年7月19日

Healthcare note

(No. 13-11)

寄稿者名：  
地方独立行政法人  
山形県・酒田市病院機構  
理事長 栗谷 義樹

編集主幹：  
野村ヘルスケア・  
サポート&アドバイザー  
市川 剛志

野村證券株式会社  
金融公共公益法人部